

# サポートコンテンツのご紹介

# ミライシード活用事例BOOK

すべての情報がわかる、ミライシードのポータルサイトです。



初心者の先生でも操作を動画で簡単に学べる「基本操作動画」

すぐ真似できる活用のアイデアが満載「活用事例」



## ミライシードファンサイト



ミライシードファンサイト

検索

## ミライシード先生ラボ



ミライシード先生ラボ

検索

全国の先生と繋がるコミュニティサイトです。



リアルな事例はもちろん、コミュニティに所属している先生方限定のイベント情報も公開しています!

SNSでもタイムリーな情報をお届けしています!



ベネッセの義務教育向けICTソフトミライシード facebook



ミライシード公式LINE



今年こそ! もっと自信を持って使いたい

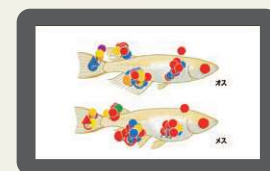
少数意見も大事にしたい



ICTの困りごと



# あの先生の解決法



グループ活動を盛り上げたい



変化を見える化したい



- ▶ 初めての使い方～応用まで3STEPでわかる19事例
- ▶ 全国の先生のアドバイスで制作



# 全員主役のICT授業、お困 ミライシードは**全国の先**

ICT本格導入から4年目。子どもたち全員主役の授業をつくる際  
今回も先生方からいただいた不安やお困

今年こそ!もっと  
**自信を持って**  
使いたい

「一斉共有」と  
「シェア」ができればOK!  
→ P.4へ



**グループ活動**を  
**盛り上げたい**

子ども主体の活動を  
取り入れることがポイントです。  
→ P.15へ



**CHECK!**

# りごとがあっても大丈夫です **生の声**からできています

に出てくるお悩み。その多くは、全国の先生に共通しています。  
りの解決策となる実践を掲載しました。



**少数意見**も  
**大事にしたい**



全員参加型授業で  
多様な気づきが  
得られます!  
→ P.14へ



「R-PDCA」で  
クラスの力が  
可視化されます!  
→ P.27へ

**変化**を  
**見える化**  
したい



この冊子は  
先生方と一緒に  
編集・制作  
しています!

**編集にあたって** 一緒に編集いただいたミライシード先生コミュニティに参加されている先生方に、  
感想や冊子への思いをお伺いしました。



**二川佳祐先生**  
東京都練馬区立公立小学校

編集に携わらせていただき、たくさん学ぶ機会になりました。全国の先生方が手に取っていただくと、思いが強く、よい物を感じたいと思う気持ちが強くなりました。お読みいただきお声をいただけたらうれしいことはありません! SNSでDMお待ちしております!



**西田凌己先生**  
京都府公立小学校

皆さん! 使い方や活用場面などのイメージはついてますか? この本は不安や心配のある先生方のモヤモヤを吹き飛ばす一冊になっています! もしものピンチでも、この本が先生方のサポートをしてくれます! ぜひ、先生がチャレンジする姿を子どもたちに見せてみませんか?



**津田信先生**  
長崎県佐々町立公立小学校

「使えるかも?」が「使い時!」です! 思いつくのが授業前の教材研究の時でも、授業中でも構いません! とにかくミライシードを使ってみてください! そのチャレンジが次につながると思います! 私たちの実践事例が「使えるかも?」につながると幸いです。



**福住里絵先生**  
茨城県茨城町立公立中学校

この「活用事例BOOK」が職員室に届いたときに、多くの先生方に見ただけのことだけを覚えて制作しました! まず、この中の一つの事例を真似してみてください。すると、きっとそこから先生ご自身のアイデアがわいて、それがつけ足されてオリジナルの実践がうまれてくるはずです。



**佐藤誠先生**  
山梨県山中湖村立公立小学校

編集に携わり、子どもたちのために! ミライシード ビギナーズのために! という編集委員の熱い思いにふれてきました。大いに刺激を受け、明日への活力になりました。皆さまにもお読みいただき、業務への活力にしていだけたらうれしい限りです。



**青木秀夫先生**  
東京都練馬区立公立小学校

毎回、進化を重ねている「活用事例BOOK」、ベネッセの方の熱い想いと全国の先生方の素晴らしい実践が詰まった一冊です。全国の先生方からアイデアと刺激をいただきながら、ミライシードを効果的に活用し、子どもたちの力を高めていきましょう!!

**すぐ真似できる!**  
カードがもらえる  
**共有コード**

先生方が作成されたカードが手に入る「共有コード」で、  
掲載されている事例をすぐにお試いただけます。

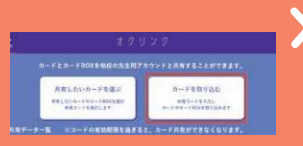
①ファンサイトにアクセスし、「新着情報」内の『2024年度春版「活用事例BOOK」共有コードのお知らせ』記事内にある「コード一覧」から該当の共有コードをコピー。

共有コード	共有コード	共有コード	共有コード
1	2	3	4
5	6	7	8
9	0	1	2

②オクリンク・ムーブノートのトップ画面を開き、左上の「カード共有」をタップする。



③「カードを取り込む」をタップする。



④ ①の「共有コード」をペーストしてダウンロードする。



※この冊子では、「オクリンク」と「ムーブノート」、「ドリルパーク」R-PDCAの実践事例を紹介しています。  
自治体の契約形態により、ご利用いただけるアプリは異なります。  
※この冊子に掲載している情報は、2024年3月時点で得られた情報をもとにしています。

取得方法の  
動画はコチラ!



# もくじ CONTENTS

全員に発表  
してもらいたい

## オクリンク活用事例

初心者先生向け  
基本動作 ---- P.4-6

UP 中級・上級者先生・  
研究授業向け ----- P.7-10

承認や  
コミュニケーション  
を活発にしたい

## ムーブノート活用事例

初心者先生向け  
基本動作 ---- P.12-14

UP 中級・上級者先生・  
研究授業向け ---- P.15-18

きちんと  
基礎力を  
つけさせたい

## ドリルパーク活用事例 --- P.20

宿題や自習で、子どもたちが個別最適化された問題に取り組む  
ことができます。

変化を  
可視化したい

## R-PDCA活用事例 ----- P.26

簡単なアンケートで、授業の成果を可視化・授業改善ができます。

子ども主体の  
学習が進む  
アプリが登場!

## オクリンクプラスのご紹介 --- P.28

2024年度、オクリンクとムーブノートのいいところを融合してパワー  
アップした新アプリが登場します。先生たちからいただいたご要望一  
つひとつ検証し実装したアプリの詳細を先取りしてご紹介します。

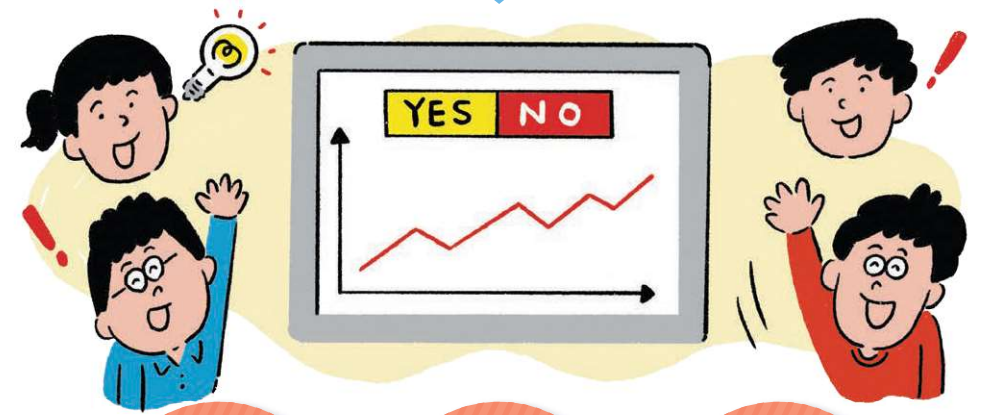
タブレット使用前後  
をスムーズにしたい!

## タブレットを使い続けるコツ ----- P.32

シンプルなカードで意見が伝えやすい

# オクリンク

全員に発表  
してもらいたい



直感的に  
操作ができ  
低学年も  
使える

意見が  
可視化しやすく  
発表が得意に

活動の  
蓄積で変化が  
わかる

### 編集協力先生のおすすめ事例

動画での意見・考えの提  
出は目から鱗でした!こん  
な活用法も知れるからこ  
そ事例BOOKは面白いで  
す!



二川先生の  
おすすめ事例 >> P.4

先生の即時のフィードバ  
ックが生徒の気づきにつな  
がりますね。生徒が学びを蓄  
積し、考えの変化に気づけ  
るのも素晴らしいです。



青木先生の  
おすすめ事例 >> P.6



どんどん  
意見を  
出させたい!

# 子どもならではの表現で リアルな意見が出る!

演技を通して道徳的心情を豊かにする「役割演技」。自分が演じることで心の葛藤を体験でき、動画によって今までより多くの他者の考えにも触れられるようになりました。

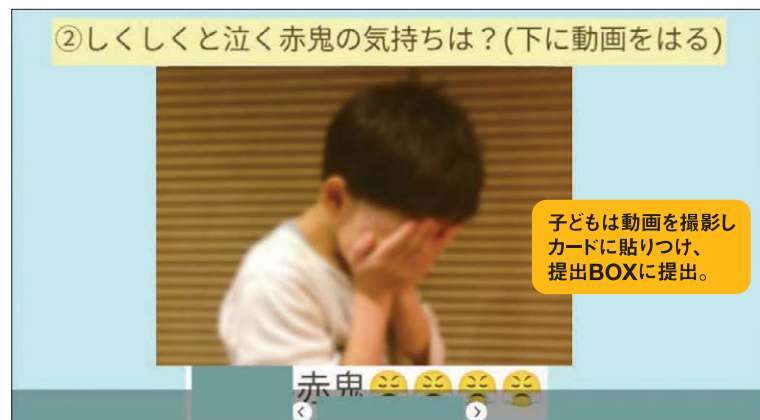
**授業導入** 各自、友だちの定義を考えて共有した後、物語『泣いた赤おに』を読む。

**1** 子どもは赤鬼を演じ  
気持ちを語る。  
ほかの子どもに  
撮影してもらい提出。



### Point

クラス全員の前での演技を取  
りかかせる子どもも動画での  
撮影なので参加しやすくなる。



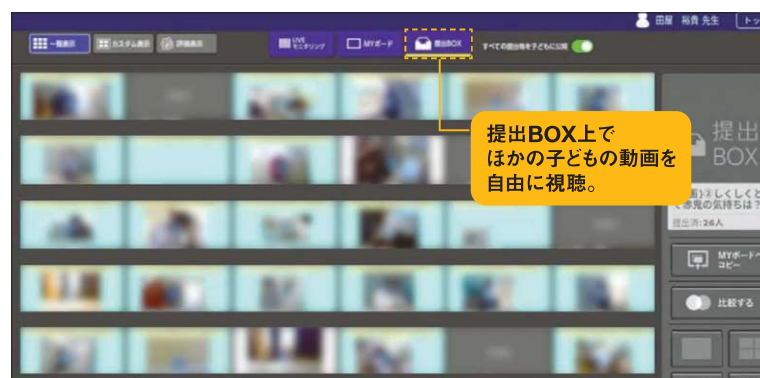
子どもは動画を撮影し  
カードに貼りつけ、  
提出BOXに提出。

**2** 提出BOXで  
クラスメイトの動画を視聴し、  
赤鬼の心情を理解。



### Point

提出BOXでは、クラス全員の  
動画が一斉共有され1タップ  
で視聴できる。クラス全員の  
演技を見れるので登場人物  
の心の葛藤を多角的に捉えら  
れる。



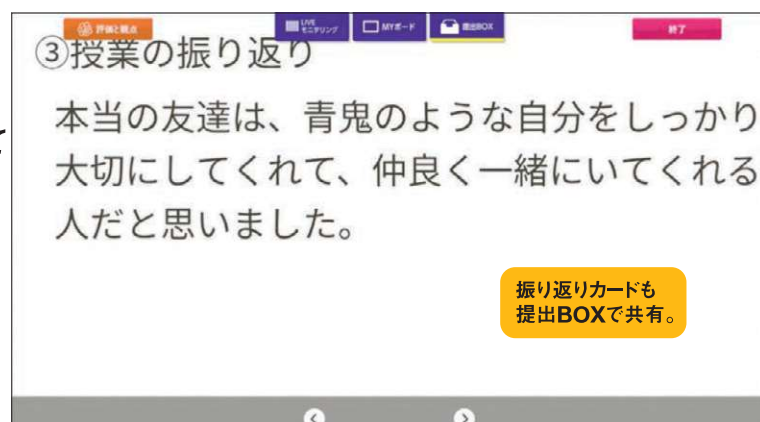
提出BOX上で  
ほかの子どもの動画を  
自由に視聴。

**3** 赤鬼・青鬼双方の  
気持ちを口頭で発表。  
教員は黒板に心情をまとめる。  
子どもは「本当の友だち」について  
考え、振り返りカードを入力。



### Point

最後の振り返りもカードで提出  
してもらえると、教員も子どもも授  
業の成果を一覧で見ることが  
できる。



振り返りカードも  
提出BOXで共有。

すぐ真似できる!  
カードがもらえる  
共有コード

この事例のテンプレート用共有コード

obsQMbH3Y6TnRiCl8HVva2D3

この先生の事例は  
こちらからも



この事例のテンプレートは  
「ファンサイト 活用事例」で、

道徳 演技 心情理解

と検索することも取得可能!

## BEFORE

代表者数人の発表では、  
心情理解の材料が限られ  
意見も限定的に。

## AFTER

クラス全員分の表現で、  
心情を多角的に捉えることができ、  
意見が具体的になる。

カード作成と提出BOXで共有ができればOK!

## 先生の操作

### カード配布

動画を貼り付けるカードを用意し、  
送るボタンから「みんな」を選択し配布する。



### 提出BOXを見る

画面上部のタブ  
提出BOXをタップ。



先生は、今やっている  
授業の提出BOX  
だけを「受付中」に  
したり、名前を変え  
たりすることが可能。



## 子どもの操作

### 動画撮影

指定したカードをタップ→上部  
の「カメラ・マイク」をタップ。



丸ボタンから撮影スタート。「キャンセル」で  
撮り直し、「OK」でカードに貼り付けられる。

### 提出BOXに提出

作成したカードを  
「オクルボタン」に  
ドラッグ&ドロップ。



提出BOXをタップし該当のBOXをタップ。



オクリンクでクラス全員の動画を簡  
単に視聴できるようになりました。

教えてくれたのは

相模原市立  
旭小学校  
田屋裕貴先生

すぐ真似できる！  
カードがもらえる  
共有コード

共有コードは obE9sl4wnniok6GmS3aotG  
または **社会 第一次世界大戦** で検索！

この先生の事例は  
こちらからも



# 協働学習と個別学習のメリットを 両立させた授業を展開できる

学びの質を  
高めたい！

リアルタイムで意見共有ができることで生徒同士の学び合いがスムーズに。取り組みの進捗が可視化されることで、教員は一人ひとりの思考のスピードを考慮しやすくなりました。

**事前準備** 教員は、学習課題を記載したカードを作成しておく。

**1** 学習課題に対する考えを書いた生徒からカードを「提出BOX」に提出する。

学習後 「持たざる国」 イタリア・ドイツ・日本は  
生徒は課題に対する考えをカードに入力。

イタリアでは全体主義を進めて、ムッソリーニが独裁政治をおこなった。その結果エチオピアを併合し、領地拡大をはかった。  
ドイツでは世界恐慌で失業者が増えた。その人々に職を与え、熱心でインパクトある演説で国民の心を動かしたヒトラーが政権につき、独裁政治を行った。そこからドイツに近い国々を武力で制圧し、併合していき、力をつけていった。  
日本では戦争に否定的だった首相や大臣を軍の人たちが襲撃する事件が起こり政府より軍の発言力が上がった。日本は強国の中でも植民地が少ない方だったので満州国を建国して支配下においた。こうして持たざる国は自分の周りの国でyesとしか言わないような国に目をつけてほぼ植民地のような状態にした。また、孤

**2** 「すべての提出物を子どもに公開」機能をONにした状態で、教員がボードペンを使ってその場でフィードバックする。

学習後 「持たざる国」 イタリア・ドイツ・日本はどのように対応したか

イタリアでは全体主義を進めて、ムッソリーニが独裁政治をおこなった。その結果エチオピアを併合し、領地拡大をはかった。  
ドイツでは世界恐慌で失業者が増えた。その人々に職を与え、熱心でインパクトある演説で国民の心を動かしたヒトラーが政権につき、独裁政治を行った。そこからドイツに近い国々を武力で制圧し、併合していき、力をつけていった。  
日本では戦争に否定的だった首相や大臣を軍の人たちが襲撃する事件が起こり政府より軍の発言力が上がった。日本は強国の中でも植民地が少ない方だったので満州国を建国して支配下においた。こうして持たざる国としか言わないような国に目をつけてほぼ植民地なよう

教員はボードペンで波線や花丸をつける。

**Point**

生徒は友だちの意見や教員のコメントをヒントにしながら、タイムリーに自分の意見を修正したり付け加えたりする。

**3** 提出後に手元にあるカードを歴史の流れに沿って連結させて学習履歴を蓄積。



生徒は単元を通して作成したカードを連結。

**Point**

カードをつなげることで単元を通した考えの変化などを視覚的に振り返ることができる。

教えてくれたのは  
加須市立  
加須平成中学校  
菅谷優子先生

まず個人で考え、意見をカードに残すことで、世界の国々の流れや因果関係を根本から理解することができました。

すぐ真似できる！  
カードがもらえる  
共有コード

共有コードは obwSr9JRQfMLcvSiRXEp5nc  
または **総合 マイプランスクール** で検索！

この先生の事例は  
こちらからも



# 問いの発見からプレゼンまで 子どもたちが改善していく探究活動

自ら振り返り  
実践できる場を  
つくりたい！

全校で行う探究学習「マイプランスクール」。  
すべての子どもが「自分なりの世界を発見できる」と確信することをめざしています。

**事前準備** 探究学習の時間を使って子どもたちはタブレットを持ち校内を歩き、「気になること」を撮影したり調べたりする。

**1** 探究したことを発表するプレゼンテーション資料を子どもはオクリンクで作成・練習。

**Point**

低学年・中学年の子どもたちも、文章や写真貼り付けなど様々なやり方で表現する。カードの連結や並べ替えもドラッグ&ドロップでスムーズ。

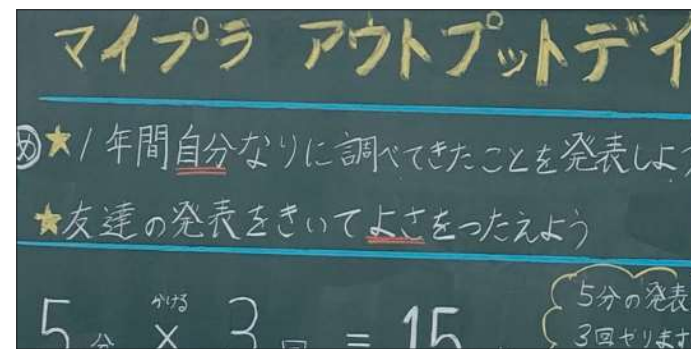
昔かっていたバッタのしゅるいオンブバッタ  
トノサマバッタ.キリギリス



**2** 年に2回の学習発表会で全校生徒が発表を聞き合う。

**Point**

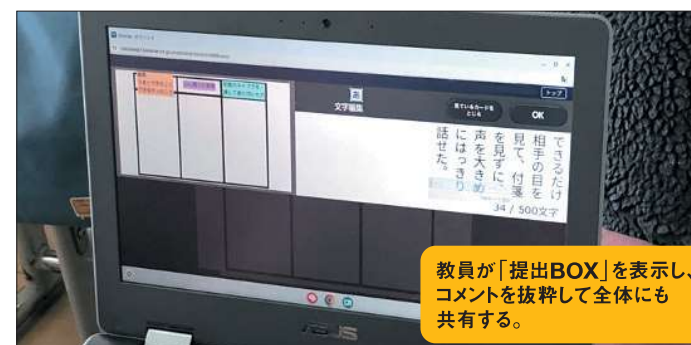
交代でアウトプットグループとインプットグループに分かれ、全員が発表する日。保護者にもコメントをもらう。



**3** 発表後、各クラスで振り返りを実施する。

**Point**

振り返りもオクリンクで実施。振り返りのためのフォーマットを使うことで、低学年でもスムーズにアウトプットできる。



教員が「提出BOX」を表示し、コメントを抜粋して全体にも共有する。

教えてくれたのは  
日野市立  
日野第四小学校  
鎌田涼佑先生(左)  
ジェネレーター  
伊藤恵子先生(右)

低学年・中学年でも筋道を立てながら発表でき、1年間の軌跡から改善点が生まれました。

一人ひとりテーマが違って、互いを見合うことで生まれる気づきや発見から、学び方が広がります。子どもたちの感じたことを先生が丁寧に全体へ共有し、「これ、面白いね!」のやり取りを重ねる時間が、全体の学びをさらに深めていると思いました。

すぐ真似できる！  
カードがもらえる  
共有コード

共有コードは obL26DpMSuCoEdikXpqEWTP  
または 国語 読書の記録 で検索！

この先生の  
事例は  
こちらからも



記録を  
効果的に  
したい！

# 共有・蓄積が簡単な読書記録で 新しい本に挑戦する子が増加

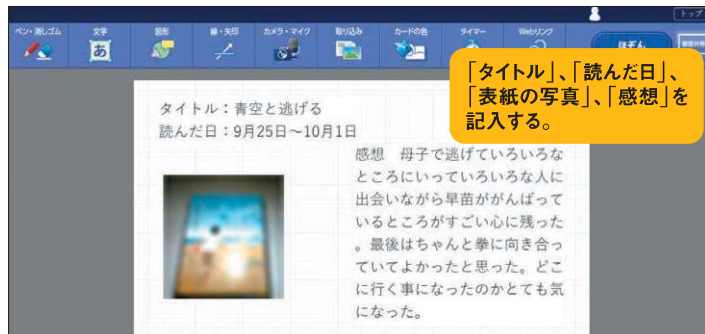
紙での記録では、紛失やどんな本を読んでいるかがいまいちわからないという課題があり、オクリンクに読書の記録をまとめていきました。

**事前準備** 教員は、フォーマットとなるカードを作成し子どもに配布する。

**1** 子どもはカードに  
1冊の本の感想を  
記入する。

**Point**

読んだ冊数だけカードをコピーして増やす。作成したカードをつなげて提出BOXに提出する。



「タイトル」、「読んだ日」、「表紙の写真」、「感想」を記入する。

**2** 教員は提出BOXを  
公開する。

**Point**

前回までのカードとつなげることで「読書の記録」ができる。



**3** 教員は時間割に  
定期的に組み込む。

**Point**

時間割を作成したら、週のはじめの月曜日の1時間目に移動させておくことで、通年の記録とすることも可能。



教えてくれたのは  
練馬区立  
仲町小学校  
青木秀夫先生

クラスメイトの読書記録がすぐ読めるので、興味関心の幅が広がり、いい刺激になっています。

算数 図形 見える化  
で検索！

この先生の  
事例は  
こちらからも



視覚的に  
考え方を  
とらえ  
させたい！

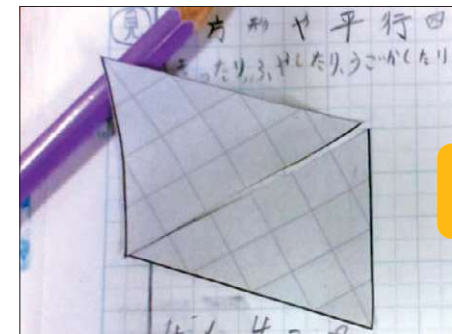
# 考え方を見える化・比較し 全員で公式を導き出す

図形の学習では、実際に操作したり考え方を見える化したりすることが大切だと考え、紙とデジタルで「やって、見て、学ぶ」を実践しました。

**1** 個別に三角形の面積の求め方を  
考え、紙のノートに自由に表現。  
ノートをオクリンクのカメラ機能で  
撮影後、提出BOXへ提出。

**Point**

「どの考えが簡単だと思う？」「どれでやってみた？」と投げかけると、子どもたちの間で対話が生まれ、既習の図形に変形させて求めればよいことに気づく。

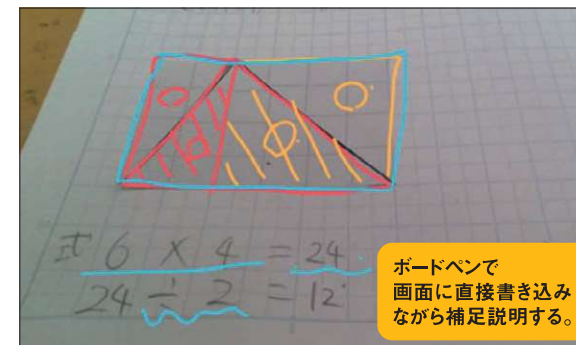


切る、回転させるなどの操作をしてできた考えをカメラ機能で撮影し提出。

**2** ボードペンで考えを  
「見える化」する。

**Point**

子どもの発表の際に、子ども本人もしくは教員がボードペンで直接書き込み、色分けしながら説明する。式と図との関連が「見える化」され、理解が深まる。

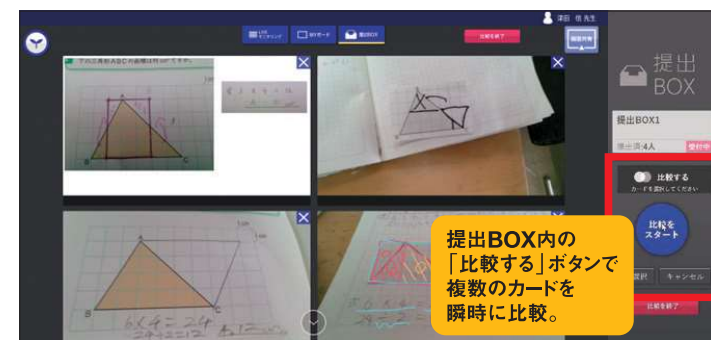


ボードペンで画面に直接書き込みながら補足説明する。

**3** 教員は異なる考えを  
ピックアップし比較する。

**Point**

既習事項である平行四辺形や長方形の公式に当てはめながら比較して考えることで、どの考えも「三角形＝底辺×高さ÷2」という面積の公式が導き出せることに気づく。



提出BOX内の「比較する」ボタンで複数のカードを瞬時に比較。

教えてくれたのは  
佐々町立  
口石小学校  
津田 信先生

紙とデジタルの強みを生かし共有することで、考え方の引き出しが増えていきます。

すぐ真似できる！  
カードがもらえる  
共有コード

共有コードは obYEPMIMgoivpJcXy8do8e7

この先生の事例は  
こちらからも



または **数学 問題の出し合い** で検索！

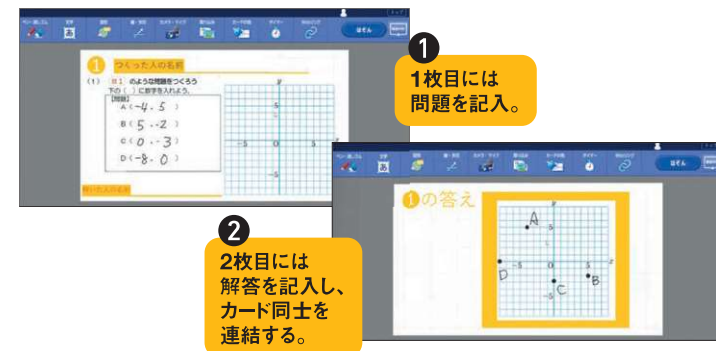
# 問題の出し合いで 基礎の定着&モチベーションUP!

基礎の定着を図りたい！

座標の読み取りや、xとyの条件から比例・反比例の式を考える問題を生徒自身がつくり、友だちと出し合うことで主体的な取り組みにつながりました。

**事前準備** 教員は、問題と答えを書き込めるフォーマットを載せたカードを2枚つくり生徒に送る。

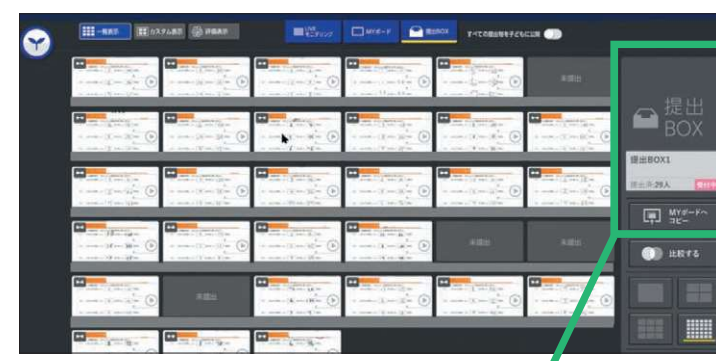
**1** 生徒は1枚目のカードに自分で考えた数字を入れオリジナル問題をつくる。2枚目のカードにその答えを記入。



**Point**

複数枚カードを送っておくことで生徒たちは様々な角度から考えようとする。

**2** カードが作成できたら提出BOXに提出し、クラス全体に共有する。



**3** 友だちが作成した問題のカードを自分のボードへコピーして、様々な問題に取り組む。

**Point**

自分が見つかったカードを宛先指定して友だちに送ることもできる。



「MYボードへコピー」ボタンからコピーする。

基本知識の理解を深めただけでなく、自分が作成した問題を友だちに解いてもらうことが生徒たちにとって大きなモチベーションアップにもなっていました。

教えてくれたのは  
福岡市立田隈中学校  
中村勇太先生



お互いの反応があるから気づきが増える！

# ムーブノート



集計機能で子どもの意見を瞬時に把握

相互評価をリアルタイムに確認可能

クラスや学年の枠を超えて交流ができる

## 編集協力先生のおすすめ事例



スタンプ自体に意味をもたせる事で、集計画面のもつ意味が一段階も二段階もグレードアップしますね。子どもたちの視点が変わる、視野が広がるスゴイ活用です！

佐藤先生のおすすめ事例 >> P.15



匿名表示で、作品そのものを相互評価できる！拍手機能を使えばいろいろなコンテストができますね！

津田先生のおすすめ事例 >> P.12



表現方法を  
学び合う機会を  
つくりたい！

# 文字以外の情報を加えて 情景をイメージしながら学び合う！

幅広い表現手段やリアクション機能を活用すれば、紙に書いた俳句を黒板に貼り付けるという従来のやり方よりも効果的に学び合えると考えました。

## 事前準備

子どもは、俳句のテーマを考えておく。教員は俳句とイラストを入力するスペースをカードに用意し、「授業を開始」する。

1 子どもはカードに季節をテーマにした俳句を書き、それに合った写真やイラストを貼り付ける。



### Point

完成した子どもから順次広場に送る。



2 子どもは、広場上で友だちのカードを見ながら、具体的な情景がイメージできたものに「拍手」をつける。



### Point

広場に出されるカードを匿名表示にすることで、子どもは先入観なく作品を鑑賞することができる。



すぐ真似できる！  
カードがもらえる  
共有コード

この事例のテンプレート用共有コード

mbkZvhlpsWWpJwSkNp9CCiX

この先生の事例は  
こちらからも



この事例のテンプレートは  
「ファンサイト 活用事例」で、

ムーブノート 俳句

と検索することも取得可能！

## BEFORE

紙に書いた俳句を黒板に貼り付けるだけでは、十分な鑑賞ができない。

## AFTER

文字以外の情報の活用や作品へのリアクションを通して、お互いの表現方法を学び合えるように。

広場で匿名表示の設定ができればOK！

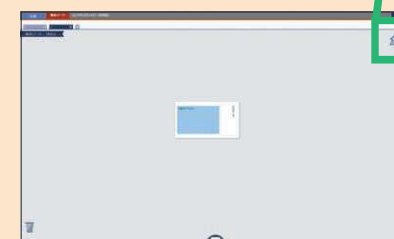
## 基本操作

### 先生の操作

### 子どもの操作

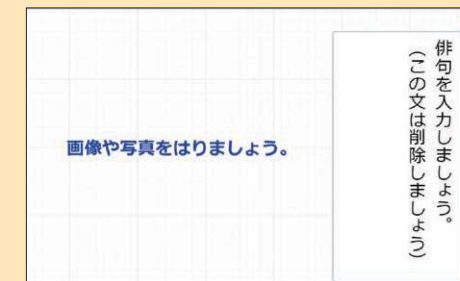
#### カード配布

俳句を書くカードを用意し、「授業を開始」ボタンをクリックする。



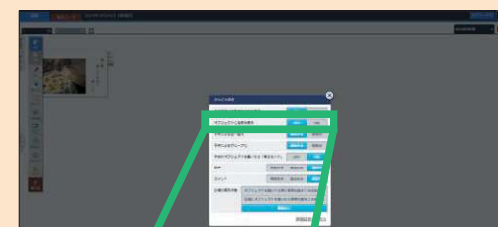
#### 画像の取り込み

「ファイル」から貼付したい写真やイラストを選び、カードに取り込む。



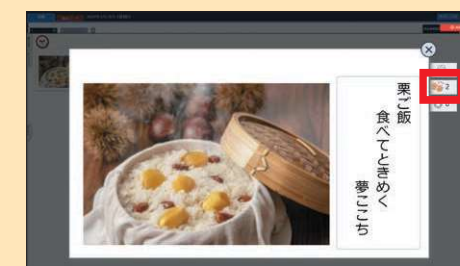
#### 広場を匿名表示設定に

子どもがカードを作成している間に、広場のふたばメニューのプロパティから「オブジェクトに名前を表示」をオフに。



#### 拍手のつけ方

広場にあるカードを1つ選択し、カード横にある拍手ボタンをクリックする。



ムーブノートを使えば、言葉だけでなく写真やイラストを使った彩り豊かな俳句カードを作成できるので、俳句の情景イメージをより膨らませられます。

教えてくれたのは

練馬区立  
石神井台小学校  
高橋蔵匡先生

※前任校での  
ご実践となります。







子どもの  
主体性を  
高めたい！

# 可視化された観点に基づいて 主体的な活動ができる

集計機能を効果的に使うことで、見学での確認事項から振り返りまで、子どもたちの意見を起点に考えることができました。

**1** 見学前)子どもはお店の工夫について仮説を立てムーブノートの広場で共有。教員は「キーワード集計」でテキスト分析、カードをキーワードごとにグループ化する。



**2** 見学当日)仮説をもとに見学。それぞれのタブレットで撮影し記録。



**3** 見学後)オクリンクで、写真をカードに貼り付け、自分の考えや感想を書き込み「自分BOX」に保存。ムーブノートを開き、該当のカードを引き出し、カードに貼り付け、広場に提出。



**Point**  
班ごとに共有し合い、拍手やコメントをつける。

**4** 振り返り)教員は「考えが変わった」「発見があった」「納得した」「新しい疑問を得た」という4つの選択肢を提示。子どもはいずれかを選び理由を書き提出。



**Point**  
教員は選択肢集計を行い、子どもの気づきをまとめる。

教えてくれたのは  
札幌市立  
中央小学校  
仲川和磨先生



子どもたちの楽しく学ぶ姿が印象的でした。  
オクリンクとムーブノートの併用はおすすめです！

考察を  
深めたい！

# 全員参加で調べ・検討・整理して 練り上げる

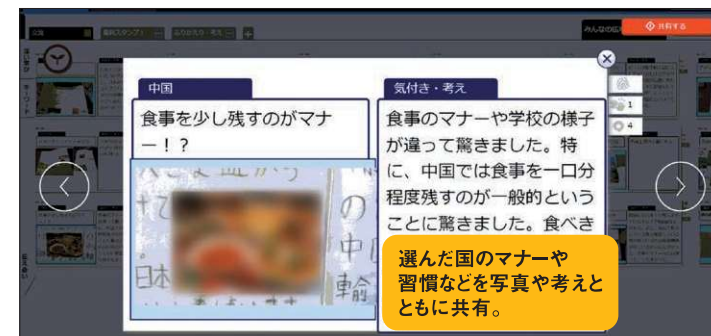
社会の集大成である「世界の中の日本」は、外国を身近にとらえづらくWebの情報で満足しがち。じっくり全員参加で取り組みたいと考えました。

## 事前準備

日本とかかわりの深い国の衣食住、文化、歴史、スポーツ等を調べ、日本との相違点の理解・発表まで終わらせ、ゲストティーチャーへの質問を考える段階。

**1** 前回までのグループ活動を、コメントや拍手機能で振り返る。

**Point**  
教科書で取り上げられている国の中から1つ選び、調べ学習。まとめたものを全体共有しておく。



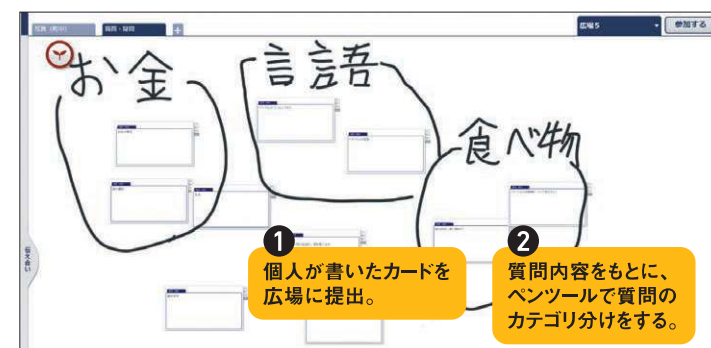
**2** ゲストティーチャーの出身国に関する写真で、気になった箇所にスタンプを置く。

**Point**  
「スタンプ集計機能」を使い、「赤：日本と同じ点、青：日本と違う点、黄：発見・気づき」に分けてスタンプを置く。写真のどこに注目が集まっているか、モニターで視覚化。



**3** グループごとに「広場」にゲストティーチャーに聞きたい質問を提出し、分類や整理をする。

**Point**  
ムーブノート上で疑問や質問を考え、各班ごとに「広場」で全体共有をする。気づきや疑問を多く持った状態で、次時にゲストティーチャーと会える。



教えてくれたのは  
新宿区立  
落合第二小学校  
福成利之先生



教員がムーブノートに不慣れでも子どもは慣れるのが早いので、ある程度任せると◎。

教科書名 東京書籍

単元名 店ではたらく人

すぐ真似できる！  
カードがもらえる  
共有コード

共有コードは mbZl3guWUyADYyftFaVeNEB  
または **音楽** **学校をこえた感想** で検索！

この先生の  
事例は  
こちらからも



他校の子どもと  
交流し  
認め合いを  
してほしい！

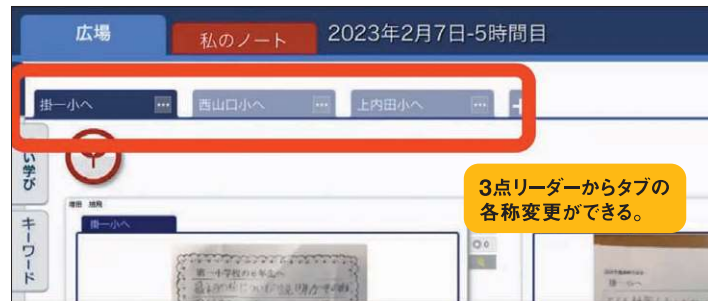
# 学校をこえた感想の共有で 認め合いが生まれる

中学生活への不安を少しでも解消してもらおうと思い、同じ中学に入学予定の子どもたちと「音楽交流会」をする際、ムーブノートを利用しました。

## 事前準備

学校間で送り合う演奏動画の長さや内容などをあらかじめ決めておく。教員は、「広場」にメッセージを送るために学校ごとのタブをつくる。

1 教員は、自校が演奏した動画を「広場」で、自校以外の学校に送る。



2 他校の動画を見て学校ごとに割り当てた「みんなの広場」から各自メッセージを送る。

### Point

たとえば、「広場1、2、3」は「A小学校1組、2組、3組」、「広場4、5」は「B小学校1組、2組」など、学校・クラス別に広場を割り当てる。

(例) A小1組の子どもは、広場1からメッセージを送る。



3 クラスごとに、送られてきたメッセージを確認する。

### Point

自分たちがほめてもらえたところなどを读んだり、「拍手」をつけるなどリアクションをする。



教えてくれたのは  
森町立  
宮園小学校  
加藤大補先生



パフォーマンスを認め合い、ほめ合い、感動していました。学校間の事前のすり合わせが大切です。

※前任校でのご実践となります。

すぐ真似できる！  
カードがもらえる  
共有コード

共有コードは mbhQY9YKktvlkn7mnXKUgdz  
または **道徳** **DC教育** で検索！

この先生の  
事例は  
こちらからも



多様な意見を  
取り入れ  
させたい！

# 生徒の表現・成長から、教員も アップデートできるDC教育の実践

デジタル・シティズンシップ（以下DC）はこの時代に生きるすべての人にとって必要なスキル。教員自身も一緒に学ぶ姿勢が大切だと考えています。

## 事前準備

ICTサポートさんと一緒に授業の構想を相談し組み立てる。事前に賛成・反対別にその理由が書けるカードと、1つの意見が書けるカードを準備する。

1 各自賛成か反対か、その意見をカードにし「広場」で見合う。

### Point

ヘイトスピーチ規制法に関して賛成する理由／反対する理由それぞれを個人で考え、カードに入力したら「広場」に提出。共有されたクラスメイトの考えを確認する。



2 実際の事例を教員から共有し、賛否を深掘りし再度カードを出し合う。

### Point

「SNS上で差別的な意見に同意しているような行為をした大学生が入学を取り消された」という事例について、各自が大学側の意見に同意できるか否かをカード上で選択し、理由を入力した上で「広場」に提出する。



3 グループで意見交換し、まとめたものを全体共有。

### Point

グループになって、ヘイトスピーチにどう対応するべきかを意見交換し、代表者がまとめて考えを記入したカードを「広場」に提出する。



教えてくれたのは  
白山市立笠間中学校  
浅見拓真先生  
ICTサポート 中田さん



生徒たちへ表現する場を提供することで、教員にとっても発見があります。

生徒たちは自分の考えを表現し、行動に生かせる力があると感じました。(中田)

すぐ真似できる！  
カードがもらえる  
共有コード

共有コードは mbhoxvNIaesvjaejMmN3jBK  
または 国語 座標軸 意見文 で検索！

この先生の事例は  
こちらからも



数値を  
根拠とした意見を  
構築させたい！

# 座標軸を用いて 登場人物について意見文を書く

数値を用いて意見を構築する方法について学ぶと同時に、登場人物の心理を自分事として捉えることで物語に対する理解度を深めたいと考えました。

**事前準備** X軸を「○○という人間を理解できるか／できないか」、Y軸を「○○と友達になれるか／なれないか」と設定した座標軸の画像と問題文を用意し配布する。

**1** 生徒はカードの座標軸上で  
ここだと思うところに  
スタンプを押し「広場」へ提出。



1 座標軸と問題文が  
書かれたカードを  
準備。

**2** 「広場」上で自分のカードに  
考えの根拠をコメントする。

**Point**

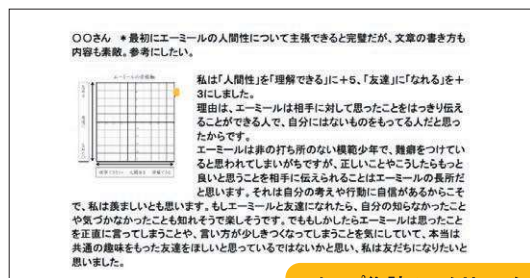
コメント記入も「広場」で行う  
ので、クラスメイトのアイデアから  
ヒントを得ながら考えることができる。

2 自分の意見に対して  
その考えに至った理由を、  
コメント機能を使って  
各自入力。

**3** クラスメイトの考えを踏まえ、  
別のツールに  
意見文を作成。

**Point**

提出後は、この意見文をもとに  
次の授業を展開できるとベスト。



スタンプ集計のスクリーンショットを  
別のツールに貼り付け、カードの  
コメントに書いた自分の考えの根拠を  
もとに意見文を作成。

教えてくれたのは  
加須市立  
加須平成中学校  
村山俊介先生

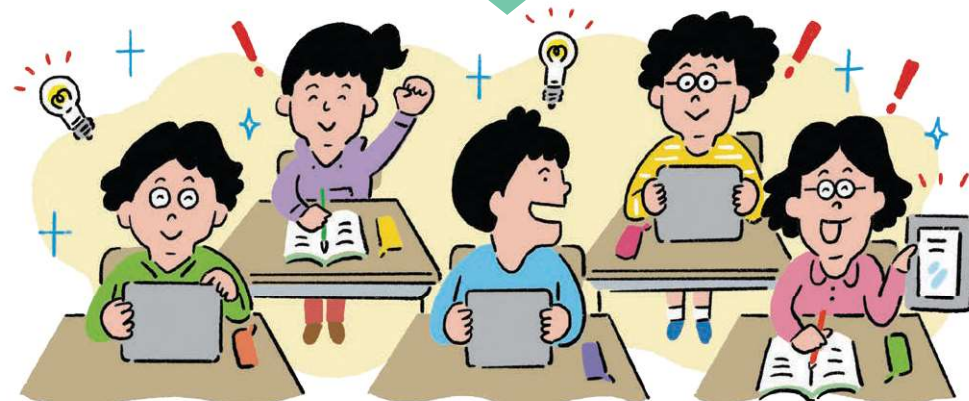


タイムリーな意見共有でお互いの思考に触れ、  
主体的に学び合う雰囲気が醸成されました。

宿題や自習でその子の進度に合わせて効果UP！

# ドリルパーク

きちんと  
基礎力を  
つけさせたい



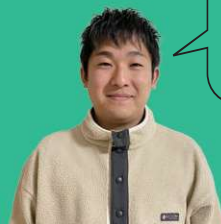
個別最適化  
された問題に  
取り組める

単元で  
必要な問題を  
作成し、正答率も  
確認できる

課題や  
単元を選んで  
予約配信も  
可能

## 編集協力先生のおすすめ事例

ドリルパークを中心に様々な  
ツールを活用することで  
多様な学び方を学べます  
ね！何回でも挑戦でき、分  
析もできる！



西田先生の  
おすすめ事例 >> P.23

一人ひとりに合った出題！  
同じような問題でも問題  
数で「抜粋」版と「たっぷり」  
版が選べることで、主  
体性も生まれそうですね。



福住先生の  
おすすめ事例 >> P.24

前向きに  
家庭学習に  
取り組んで  
ほしい!

# 「先生からのコメント」で宿題に 取り組むモチベーションが向上!

問題作成や丸付けの時間削減のためにドリルパークを活用する中で、コミュニケーションの一環として、宿題を頑張る子どもたちにコメントを送ることにしました。

**事前準備** 教員は配信する問題の設定と、送るコメントの検討をしておく。

**1** 教員は課題を配信する準備をする。



**2** 教員は先生用メニューの「コメント配信」からコメントを送る。



**Point**

コメントを送るタイミングは、子どもの取り組みの進捗を見つつ配信後でもOK。

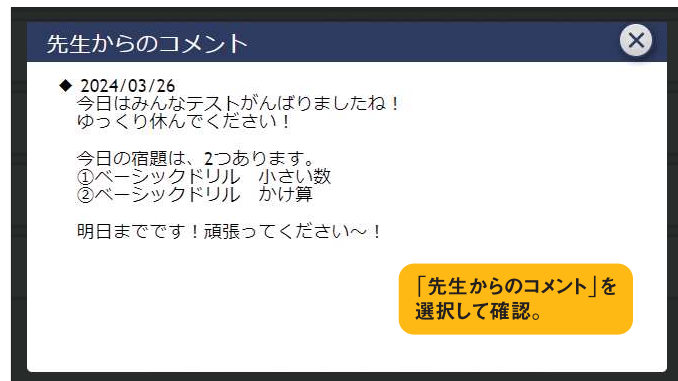


**3** 子どもは教員から届いているコメントを確認し、課題を解く。



**Point**

配信コメントは子どもが一度確認したら消えるため、注意。



## BEFORE

家庭学習に集中して取り組むことが難しい。

## AFTER

教員からの励ましを受けて、保護者も巻き込みながら、前向きに宿題に取り組めるようになる。

この先生の事例は  
こちらからも >>



この事例は  
「ファンサイト 活用事例」で、

🔍 宿題 コメント

と検索することでも可能!

## 問題の設定とコメント作成ができればOK!

### 先生の操作

### 基本操作

### 子どもの操作

#### 課題を配信

「課題配信」から「配信先」と「配信種類」を選択する。

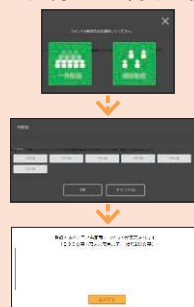


配信する問題や課題名称の設定、提出期限を決めて配信。



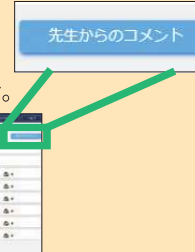
#### コメントを配信

「コメント配信」から配信方法、配信するクラスの選択を行い、コメントを入力して登録する。



#### コメントを確認

画面右上の「先生からのコメント」ボタンを押して先生からのコメントを読む。



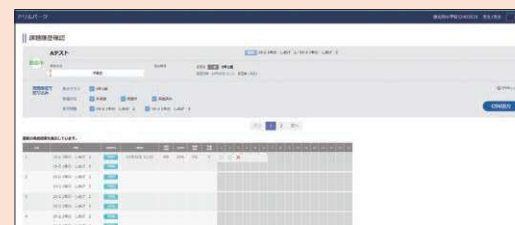
#### 問題を解く

「課題ドリル」から該当の問題を見つけて解く。



#### 課題の進捗を確認

「課題履歴確認」から子どもの取り組み結果を確認。



コメント機能は個別配信も選べるので、子どもの状況に応じたフォローメッセージを送ることもできます。

教えてくれたのは

茨木市立  
山手台小学校  
松波健太郎先生



すぐ真似できる！  
カードがもらえる  
共有コード

個別最適 読解問題  
で検索！

この先生の  
事例は  
こちらからも



自分の  
学び方  
見つけて  
ほしい！

## 個別最適な問題で 単元理解を効率よく深める

単元の復習をする際に、共通の問題に取り組みることが有効なのか悩んでいました。個別最適な問題配信により、自分に合った学び方でクラス全員の力が伸びました。

### 事前準備

教員は、取り組みたい時間と単元(紙のテストやドリルパークで正答率の低いもの)を課題に設定する。

1

教員は配信期間、配信理由と内容を伝える。間違えても解きなおしができるため、何度でもチャレンジするように伝える。

#### Point

パワーアップドリルは、読解力の底上げのために主に国語で活用。



1 取り組み時間を設定

2 取り組みたい単元を選択

3 配信

2

子どもが解答中は机間巡視や「学習状況確認」で子どもの取り組み結果をリアルタイムで確認。

#### Point

想定よりも進みの遅い子どもには個別に声かけを行う。



児童ごとの進捗を確認

教えてくれたのは  
京都市立  
公立小学校  
西田凌己先生



朝の空き時間や授業の終わりの5分を有効活用できます。



理科 ドリルパーク  
で検索！

この先生の  
事例は  
こちらからも



学習方法を  
自分で  
選ばせたい！

## 自分で学習のツールを選び 最適な方法で基礎力を身につける

理科の授業はプロセスがとても長いため、もっと深い学びにつなげる時間を持たいたいと思い、ドリルパークとR-PDCAを併用することにしました。

### 事前準備

教員は、R-PDCAで「課題の迫り方」のアンケートを作成しておく。

1

授業後半の15分は、自分で選択した方法で深掘り学習をする。

#### Point

- ①ノートや紙に書いて学習
- ②教科書を読み返して学習
- ③ドリルパークを使った学習などのうちから、選んだグループに分かれて課題に取り組む。



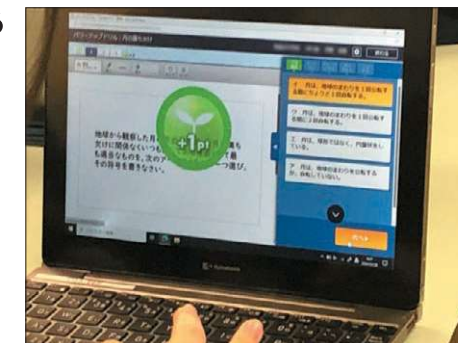
ドリルパークを選んだ生徒は、「ベーシックドリル」の中から問題を解く。

2

教員は事前に受験につながるオリジナルドリルをドリルパーク上で作成。クラス全体で、ドリルパークを解き基礎を定着させる。

#### Point

問題を解くために必要な画像をスクリーンショットで撮影し、ドリルパーク上に貼り付け可能。



3

教員はモニターで学習履歴を共有し生徒たちの進捗を確認する。

#### Point

計算や図形を用いるなど、筆記をした方が解きやすい応用問題は、紙のプリントで別にテストを実施する。



教えてくれたのは  
市川市立  
東国分中学校  
所 拓弓貴先生



ツールを組み合わせることで、それぞれの生徒に合った学習の機会が増えています！

すぐ真似できる！  
カードがもらえる  
共有コード

個別最適 パターン別  
で検索！

この先生の  
事例は  
こちらからも

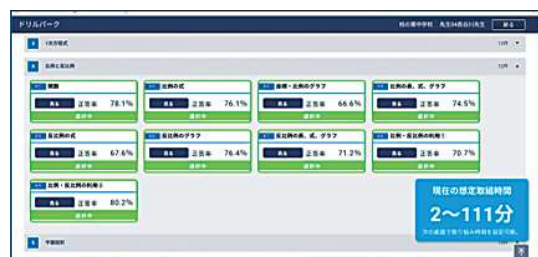


パターン別で  
課題を  
配信したい！

# 自己肯定感も高まる 個別最適な課題の取り組み

「個別最適な学び」の実現をめざし、パターン別の課題配信を始めました。「もっとやりたい！」という声も挙がるほど、生徒たちは前向きに取り組んでいます。

1 教員はドリルパーク上で  
個別最適な課題を  
パターン別に作成し、  
生徒に配信。



### Point

- A) 習った単元から100問程度を生成。…長期休暇前やテスト前などに主に取り組む。
- B) 取り組み時間を設定し、AIが個別に生成した厳選問題を生成。…授業中に実施する短時間の復習タイムなどに主に取り組む。



2 生徒は配信された  
問題を解く。

### Point

- A) パターンは「とにかく問題数をこなしたい」と考えている生徒、
- B) パターンは「効率的に復習したい」と考えている生徒に向けた最適解になります。



柏市立  
柏の葉中学校  
長谷川友一先生



ドリルパークはゲーム感覚で進める生徒が多く、画面上の仕掛けが生徒の自己肯定感UPにも寄与してくれています。

授業の良い点・改善点が一目でわかる！

# R-PDCA

変化を  
可視化したい



課題

次はココを  
伸ばそう！



簡単に  
アンケートが  
取れる

指導計画を  
自動で作成

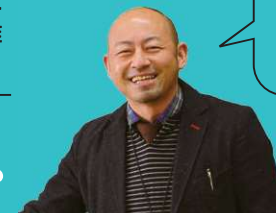
データを蓄積し  
継続的に  
授業改善

## 編集協力先生のおすすめ事例



日付を設定するだけで、年3回子どもたちの実態を数値で測れます。グラフにカーソルを当てるだけで誰が答えたかも一目瞭然！

福住先生の  
おすすめ事例 >> P.26



PDCAサイクルで、子どもたちが自分を客観的に見つめ直せる！グラフで見やすく把握できて、とても便利です！

津田先生の  
おすすめ事例 >> P.27



生徒の困りや成長について考えたい!

# 教員と生徒一体で分析&改善 時間をかけて伸ばしたい力をアップ!

生徒たちの困りごとに気づき、どのように成長していくのかを教員も一緒に見直したいという意図があり、学校全体で1年間取り組みをしました。

## 1 アクティブ・ラーニング行動調査を年に3回実施する。

### Point

5月、11月、3月の計3回、同じ項目で生徒たちにアンケートを実施。「積極的発言力」「自己表現力」が低いことがわかる。



## 2 教員で結果を分析し弱点を補強する活動を増やす。保護者や生徒たちにも結果を共有。

### Point

アンケート結果から、3学期は「発表をさせること」を中心に全校で取り組む。結果として「意見交流力」や「多様な意見を出す力」の数値アップにつながった。

これらを分析すると「資料活用・引用力」や「理由をつける力」が成長しています。これは、「自分の思いや考えをもっとよくなってきた」と見ることができず。さらに「目標決定力」がグッと変化しました。合わせて、「自分の意見をもちて計画で進まようになってきた」、「挨拶や生活習慣を振り返り、自分のQOスタイルが見えてきた」とも解釈できます。

一方で、「積極的発言力」と「意見交流力」で「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した生徒が増えました。授業を振り返るとこのような声も聞かれています。

ある日の日誌(一部抜粋)より

○数学の宿題をいつもより早く終わらせた人が増えたが、少し忘れてくる人もいた。理科の時間、実験を見ているとき、ずっと話している人がいた。メリハリを付けて行きたいよ!!

○授業中に寝ている人がいたから、ちゃんと寝てきてー!!

○今日は比較的手も早くついて、発言も多かった気がします。ですが、まだまだアタリ後も立っていたり、物を取りに行ったりする人がいるので、そこも直さるようになりたいです。

これらは同じ環境で過ごす仲間「声(意識)」ではないでしょうか?

自分の思いや考えはあるのにいざ全体の前では勇気がでない人。自分の考えを他者に共有するのをなんとなく忘れてしまう人。でも本当にそれが問題なのではないでしょうか?

学習環境は全体で作る以前に「個」の意識で変化させるもの

**“わたし”の敵は“わたし”です**

学級通信でもアンケート結果を共有。

## 3 生徒たちとも結果共有しクラス全体で振り返りをする。

### Point

生徒同士でも成長や変化が分かりやすく、「あんまり喋ってないよね」「良いところが褒められるのはできるようになったよね!」など意見交流が生まれる。



教えてくれたのは  
久喜市立  
高蒲中学校  
秀嶋 矩子先生

自分と向き合う機会が増えることで、メタ認知の育成にもつながると思います。



子どもたちの力を客観的に伸ばしたい!

# 自己認識が弱いところを重点補強 子ども自身で学習を進められる!

目標設定や課題解決能力など、子どもたちの自己認識が知りたかったため、コロナ禍において遠隔授業をするプロセスでR-PDCAを活用しました。

## 事前準備

遠隔授業の直前・中間・終了後の3回、アンケートを実施。遠隔授業前に低かった「目標決定力」「自己表現力」「理由をつける力」に関して重点を置くことに。

## 1 「目標決定力」を高めるため、教員が作成したルーブリックをもとに、子ども自身が調べるテーマを決める。

### Point

親しみやすい「大阪府」を題材にし、子どもたち自身でテーマを決めて解決していく流れにする。

### ▼実際に使用したルーブリック

ルーブリック	大阪府についてしよういすることを考えよう
大まか時数	
言葉の力	役割を考えながら話し合う力
つかむ	オンライン交流で他府県との交流を行う。そこで、社会科で大阪府の伝統やお祭り、文化財(建物)などについて調べ、まとめたものを発表する。国語科では、この活動の中で話し合うときには、どんなことに気をつけなければならないか考える。
言葉の関心	それぞれの役割わりでどんなことに気をつけながら話し合いましたか。
言葉の力	【役割を考えながら話し合う】 〈司会(交代で行う)をするとき〉 ・出てきた意見を確かめたり、いろいろな人の発言をうながしたりする。 ・議題から話がそれないように進める。 〈提案をするとき〉 ・提案する内容を整理し、理由なども入れて話す。 ・提案に対する質問に、はっきり答える。 〈参加するとき〉 ・ほかの人の意見を聞き、みんなでよいものにまとめるようどうするかを話し合う。 ・出てきた意見のいいところやよいところを考え、進行にそって発言する。
①グループで話し合うときの注意(順番を確める中で必要に応じて)	

## 2 自由に調べたことをまとめたことで、「自己表現力」を向上。

### Point

書き方を指定せずに、自由に考えをカードに入れさせる。



子どもたちの課題として捉えていた3つの力すべてにおいて、授業後には数値アップ。

## 3 遠隔授業全体の振り返りは、オクリンクで実施。

### Point

事前準備や交流本番で気をつけたこと、自分にどんな力がついていたのか、など、文章でカードに入力。

2 オンライン交流に振り返り  
もう少し頑張ったことなどを書いていきたい  
と思います。さっきの内容は、頑張ったことは、例えば、みんなの班のところから、ヒントを少しだけ教えてもらったり、してもらって(それイイねと)考えていいのができたということは、みんなが協力し合って、できた作品かなと思います。このように頑張って工夫をしたことがたくさんあります。さっきも言ったけれど、「1で」大人になっても続けてい

教えてくれたのは  
茨木市立  
春日丘小学校  
貝原 彰先生

課題を明確にして計画を立てることができる。R(Research)は大切だと実感しました。

2024年「共同編集」ができる新アプリで、

思考と表現の幅が広がります! /

# 「オクリンクプラス」で

# さらに子ども主体の授業へ!

増えていく協働的な学びに対応し、スムーズなUIとコンセプトを持った「オクリンク」と「ムーブノート」のいいとこ取りのアプリです。

## 協働学習 (みんなのボード)



### 共同編集で学び合いが活発に

子ども同士で学ぶスペース。複数人で共同編集をしながら、一つの意見を練り上げていくことができます。多様なアクション機能もさらに充実しています。



子どもたちの対話の質が上がる機能が満載で、あらゆる教科の特性を生かすことができます。

旭川市立公立小学校 A先生

共同編集で、誰も取り残さないやり取りが生まれそうです!

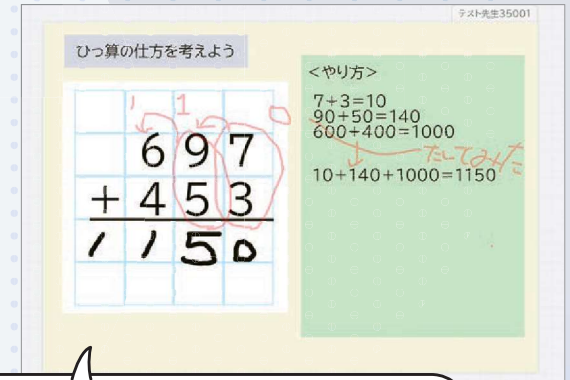
桐生市立公立小学校 B先生

## 個別学習 (マイボード)



### 一人ひとりの思考が深くなる

自分の考えを整理し、表現するスペース。カードサイズの自由な変更や、やってみたくなる連結など子どもがワクワクする機能が強化・改訂されています。



カードの動きや操作性など、細かい部分で、子どもたちのモチベーションが上がりそうです。

札幌市立公立小学校 C先生

集団思考とフィードバックを取り入れて、深い学びに

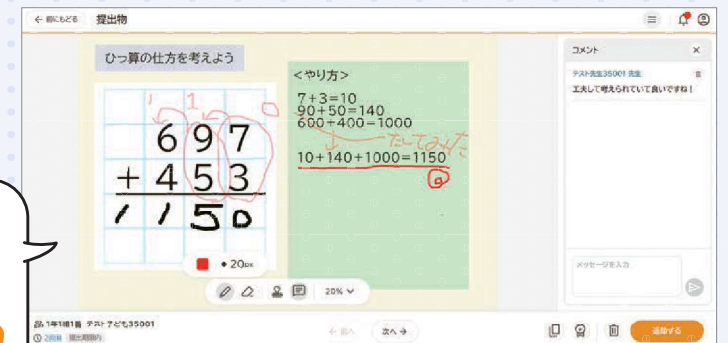
個人思考、シームレスにより自由につながります。

## 振り返り (提出BOX)



### ワンタッチでチェックや評価が可能

ペンやスタンプでスムーズに評価。子どももわかりやすいフィードバックからの確な振り返りができ、授業前後の変容を実感しやすくなります。



提出に期限をつけたり再提出を促すことも可能なので、タイミングよく子どもの意欲も伸ばせそう!

枚方市立公立中学校 D先生

先生たちから寄せられた約2900件のご要望を、一つひとつ検証し実装した新しいアプリ。

2024年度内でも、先生たちの理想とする授業ができるように改訂をしていきます。

2024年4月  
リリース1

2024年7月  
リリース2

2025年4月  
リリース3

※通常の「オクリンク」と「ムーブノート」も利用可能です。



とらえづら  
い技能の  
ポイント  
をみんな  
でつか  
みたい!

# 子ども同士のリアクションからリアルタイムで音読のポイントを探る

朗読や音読は、自分を客観視することにプラスして友だちや教員からのフィードバックが大切だと考え、音読に関して工夫している点をグループで見つけていくことにしました。

## 1 家庭や別室で、各自が詩の朗読や音読劇の様子を録画し提出。

**Point**  
朗読する内容に応じて、意識したことや工夫したことをテキストで入力させ、「提出BOX」と「みんなのボード」に提出させる。



## 2 授業中にみんなのアウトプットを見合い、リアクションをする。

**Point**  
友だちが提出したカードを確認し、スタンプを送り合ったりその人の発表のよい点をコメントで伝える。



## 3 グループでよい音読についてのポイントをまとめる。

**Point**  
スタンプの数をもとに、お手本となる発表を教員がピックアップしてクラス全体で共有。ついたコメントをもとに、音読する際のポイントをグループで確認する。



### BEFORE

音読は、実態やうまくいくコツをとらえづらい。

### AFTER

友だちの実例をもとに改善しやすく、リアクションで意欲も上がる。

この先生の事例はこちらからも



この事例のテンプレートは「ファンサイト 活用事例」で、  
国語 詩の朗読 音読劇  
と検索することで取得可能!

## みんなのボード上でコメントができればOK!

### 基本操作

#### 先生の操作

##### 授業を作成

音声や動画を張り付けるカードを用意し、ふたばメニューから「みんな」を選択し配布する。

「授業一覧」から「授業作成」をクリックし、教員が授業を開始すると子どもたちが自由にカードを作成できる。

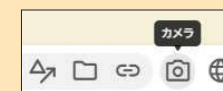


##### 動画を挿入

ツールバーの「挿入」ボタンをクリックし、「ファイル」から挿入したい動画を選択する。



直接撮影する場合は、ツールバーの「カメラ」を選択する。



##### みんなのボード上でリアクション

右下の「みんなのリアクション」から、コメントやリアクションをつける。



##### 共同編集

グループで1人ひとつずつポイントをカードに入力する。

最後に教員ともフィードバックのやりとりをすると、よりポイントを整理できます。外国語や音楽でも使えます!



教えてくれたのは  
練馬区立  
石神井台小学校  
高橋蔵匡先生

タブレット使用前後を  
スムーズにしたい!

\\ 初心者先生必見! /

# タブレットを使い続けるコツ

ICTをうまく使い続けていくには、  
授業前後のタブレットの扱いが大切です。  
ポイントは習慣づけと  
「子どもたちの巻き込み」です。

悩み1

授業開始後にタブレットが  
使えずバタバタ…

小学校に  
オススメ!



授業前から使える  
状態にしておく!

☑ 朝イチで子どもが  
ログインする



保管庫にある場合は朝のうちにタブレット係が教室まで運ぶ、朝のうちに立ち上げログインしておく、など朝のルールをつくと1日がうまくいきます。不具合もこのとき発見できるようになります。

☑ タブレット係が  
カゴで持ち運ぶ



悩み2

充電不足・忘

れた子への対応が大変…

中学校に  
オススメ!



子ども  
対応

たちといっしょに  
方法を考える

☑ 忘れたら自分で  
友だちに見せてもらう



不測の事態が起こったとき、大切で。子どもたちタブレットの扱いや

☑ 充電がなくても  
自分でなんとかする



すべて先生が抱えこまないことが自身に対応を任せることで、管理も含めて学びになります。

悩み3

使い続けられるか不安



「毎日少しでも使う」を  
習慣にする!

☑ 毎日使う予定に  
しておく

時間割

	月	火	水	木	金
1					
2	☑		☑		☑
3					
4	☑			☑	
5	☑				

☑ 充電を  
習慣化する



ほんの少しでも毎日授業で使うことで、使いやすい動線ができた子どもたちが自動的に動けたりするようになるため、どんどんスムーズになっていきます。



西田先生

## 具体的にタブレットの 扱い方法を伝える

「困ったときは再起動をしよう」、「持ってくるのを忘れないように、家での充電はランドセルの近くでしよう」など具体的なルールを伝えています。



津田先生

## 応急処置の パターンを決める

接続不調の場合は、端末を開くタイミングをずらしたり、ペアワークやグループワークで対応します。どうにもならなかったら、あきらめることも大切です。



福住先生

## 失敗ありきで考えさせる

タブレットは高校・大学でも使うもの。だから困りがあった方がいいんです。忘れたら自分で考えてなんとかしなさいと伝え、充電も家のみ! 練習で学び、失敗ありきです!



佐藤先生

## チョットづかいの ススメ

①どの場面で②何の代わりに③何をねらって利活用するのかを明確にして『+ICT』ではなく、置き換えて考えましょう!



青木先生

## 習慣でできるようになる

毎日使う習慣をつくるのが一番大切です。使うことを当たり前にするとう充電忘れなども減ります。毎朝の健康観察で使われていた先生もいました。



二川先生

## 個別と全体の メリハリをつけて使用する

子どもがなかなか画面から目を離さない場合は、画面共有をしてロックしています。また、タブレットばかりを見るのではなく、目の前の人も大切にしたいと伝えています。